

# 海南東ロータリークラブ

KAINAN EAST ROTARY CLUB

ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 2640

CLUB WEEKLY BULLETIN

1993-1994年度国際ロータリーのテーマ

## BELIEVE IN WHAT YOU DO



## DO WHAT YOU BELIEVE IN

### 行動に信念を 信念は行動に

国際ロータリー会長

*Ronald R. Berwick*

ロバート R. バース

第2640地区ガバナー

玉置圭四郎

事務所

海南市日方1294 海南商工会議所内  
TEL (0734) 83-0800  
FAX (0734) 82-7370

例会日

毎週月曜日 12時30分  
♣オ1例会のみ 18時30分  
於 海南商工会議所4F

会長 島村 佳郎

幹事 谷口 誠也  
SAA 三木 寛昭

会報委員会

◎宮田 貞三 ○田中 昌宏  
木地 義和 雑賀 均  
土岐啓次郎 中尾 享平

オ 894 回 例会 1994年 平成 6年 1月31日 (月) 午後12時30分 於 海南商工会議所 4 F

1. 開会 点鐘 島村佳郎 会長
2. ロータリーソング 「手に手つないで」
3. ビジター紹介  
玉置 三夫様 (有 田 R C)  
青木 敏様 (和歌山東南RC)  
木島 了三様 (海 南 R C)

4. 出席報告 会員総数 70名 出席者数 53名  
出席率 76.81%  
前回修正出席率 81.16%

5. 会長スピーチ 島村佳郎 会長  
ビジターの青木さん、玉置さん、木島さん、どうも有りがとうございます。

先週29日に、クラブ世界社会奉仕、並びにクラブ国際奉仕委員長会議が、和歌山市で開催されました。委員長の新垣君が、出席してくれています。その話は、このあと聞かせて頂だけると思います。

25日に会員の名手広之君が、日赤で手術されまして、幹事さんとお見舞に行っていました。病室で、非常に元気で見舞に行っても愛想ないくらいでした。近々退院なさるそうです。

皆さん例会へ出席して下さる時は、襟章を佩用してくれてますが、1970年前後、もう20年前になりますが、このバッジをつけるか、つけないかと言う論争があったらしいです。一応結論を致しまして、まだ日本

に、何々地区と言うことが出来る以前、昭和3年以前、日本にロータリーグループが年に一回一同に会しまして、色々の取り決めを協議し、その中で、歯車の襟章を佩用すべしと、それ以後ずっと継続しておりますので、皆さん例会の時は必ず襟章をつけてくることになりました。今日私は忘れまして谷井さんに、お借り致してまいりました。

6. 幹事報告

- メーカーシップ  
1/27 林 孝次郎君 (海南西RC)  
" 楠部 賢計君 ( " )

7. 委員会報告

国際奉仕・世界社会奉仕委員長会議の報告  
新垣 勝君

於 和歌山 J A 会館(1:00~4:20)

- 青少年交換委員会から、青少年交換に関するマニュアルと言う物を、クラブに一冊頂いています。興味のある方、担当になった方は申し込んで下さい。
- 世界親睦活動の中で、昨年10月に県文でネパールの水害に対するチャリティコンサートを行ないまして、58万の純益があったと言うことで、有りがとうと言う報告を頂きました。
- 今年9月末~10月にかけて、ミンダナー

四つのテスト FOUR WAY TEST 言行はこれに照らしてから

①真実か ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるか どうか

島の民族舞踊の会を開きたいと言う事で、2640地区の各ロータリーの中で、後援しようと言う所は申し込んで下さいと言うことでした。

○世界社会奉仕 WCSの報告、各個人1500円の負担を事務局から出して頂いています。それを、ブラジルともう1ヶ所に、22万と33万を確かに送りましたと言う報告を受けています。

○ポリオクラスの件 中国にポリオクラスの支援をすると言う事で、皆様に多額の寄付を頂きましたが、地区で762万、全国で8,200万集まり、去年、年末今年初めの二回に亘って、中国で4才未満の子供約1億人に殆ど100%近く接種出来たと言う事です。

## 8. 会員卓話

「日本人のルーツを求めて」新垣 勝君  
仕事もロータリーも関係ない趣味の話と言うことで、ゲスト卓話のつもりで、一生懸命やらせて頂きます。

日本列島改造論以来、開発が進んで、いたる所で、遺跡の発掘があり、皆様も新聞紙上で時々目を、とめられることと思います。古代史では、耶馬台国ブームで、佐賀県吉野ヶ里遺跡の発掘は、その頂点に達した感があります。

そもそも私が、古代史に興味をひかれたきっかけは、盲目の作家、宮崎康平氏の「まぼろしの耶馬台国」でした。20年前の話ですが、耶馬台国にとりつかれ、本を読みあさり、それから興味の中が広がり、銅剣、銅矛銅鐔、銅鏡、古墳、土器など、考古学的なものへ、文献的には、魏志倭人伝を、始め古事記、日本書記へ、日本と言う国の始まりは？、日本語は、いつから話されたのか、そもそも日本人はいつから日本に住んでいるのか、朝鮮半島、中国大陸との関係はと、限なく広がって行きました。

日本の文献上、確実に確認できるのは、推古天皇の時代からと言うことで、たかだか1500年前のことです。それ以前のことには、よくわからないと言うことです。

縄文時代始め、頂上に居た人々は、古モンゴロイド系(約2万人)縄文人、弥生時代頃から、北部九州を中心として、渡来人がやってくる。米、鉄などの高い文化をもって近畿に広がり、その後、中国の状況、韓国の状況で、年間2000人位の渡来人が、引き続き入ってきて、近畿へ、関東へ広がって行った。

アイヌは、比較的純粋に、縄文形態を残し、南九州から沖縄も混血の度合いが、比較的少なかった。日本の政権にとり込まれた時代のちがいによるものと思われ、その他の地域にもより、渡来系の濃厚な所、うすい所のかたよりが、今も尚地域的に認められるのではと思います。ただ厳密には、大量渡来したと思われる弥生時代、埴生呼の時代、古墳時代はまだ朝鮮人も、日本人も確立されておらず、混血をくり返していた時代と思われる。渡来人そのものも、現在の中国人、モンゴル人、朝鮮人など、多数の民族を形成している以前の血が、まじっていると思われ、渡来人は、大陸系と呼ぶのが正しいかもしれません。

これからも「古代史ロマン」を追いかけたいと思っています。

## ~~~~~ニコニコ・米山・BOX~~~~~

- 宮田敬之佑君 柳川さんに大変お世話になりました
- 岡田 雅晶君 拍手で楽しい週末でした
- 山名 正一君 本日の会員卓話、新垣様御苦勞さまです  
先週欠席しました、前窪様、柳川様卓話いただきありがとうございました
- 向井 久佳君 久しぶりの満席
- 島村 佳郎君 谷井さんバッチ有りがとうございました
- 前窪 紀文君 柳川さんありがとうございました
- 新垣 勝君 卓話します
- 柳川和一郎君 何度も名前が出ましたので
- 辻 秀輝君 来年思いやられますけど、貯金用意しておきます